

侵食される個人：国境を越える人びとの人権

開催趣旨：

人が国境を越える、それにはさまざまなあり方がある。現代社会においてはまず「海外旅行」があるだろう。また仕事や留学先からの「帰国」もある。あるいは、より良い世界を夢見て希望に満ちた「移住」もある。しかしそれだけではない。「逃亡」、「強制移動」、「拉致」、「連行」などの越境もまた、ある。「強制移動」、「拉致」、「連行」などには、前者と異なり否定的な音律が付きまとう。

後者は、大きな力が働いた結果の人の移動である。その背後に国家や国家間関係が見え隠れする。そして「人権」が問題となる。すなわち、強い誘因や強制力により移動を強いられた人びとの人権はどうなったのか、である。

「人権」とは、畢竟、国家の論理と個人の論理がせめぎあう場である。国家が大きな力を働かせることによって移動してきた人びと、あるいはそうした強権力から逃れてきた人びとを国家はどのように扱うのか。国家が人権を侵食するとき、人びとはどのようにしてそれに対抗するのか。

本シンポジウムでは、東アジアに焦点を当て人が移動することの実相に迫る。韓国から日本へ、日本から北朝鮮へ、北朝鮮から中国へ、中国からの帰国者の人権、そして北朝鮮から韓国へという人の移動の在り方に焦点を当て、それぞれの相がもつ問題に焦点を当てて議論したい。

開催日時： 2013年1月18日（金） 13：30－17：15

開催場所： 上智大学四谷キャンパス図書館L-911

コーディネーター： 吉川元（上智大学グローバル・スタディーズ研究科 教授）

<プログラム>

- 13:30-13:40 「ご挨拶」
野宮大志郎（上智大学グローバル・スタディーズ研究科 教授）
- 13:40-14:20 「北朝鮮から中国に移動した脱北者の人権」
Yoon, Ye Sang（北朝鮮人権情報センター 所長）
- 14:20-14:45 「中国から日本に帰国した人びとの人権」
蘭信三（上智大学グローバル・スタディーズ研究科 教授）
- 14:45-15:25 「北朝鮮から韓国への脱北者の人権」
Park, Kwang Il（脱北者、牧師）

休憩

- 15:40-16:05 「韓国から日本に「移住」した人びとの人権」
金朋央（コリア NGO 人権センター東京事務局 事務局長）
- 16:05-16:30 「日本から北朝鮮に移動した人びとの人権」
Son, Hyun Jin（韓国法制定研究所 教授）
- 16:30-17:15 質疑応答

主催・お問い合わせ：

上智大学グローバル・スタディーズ研究科

東京都千代田区紀尾井町7-1

TEL：03-3328-4075

FAX：03-3238-3240

E-MAIL：gds-gs@sophia.ac.jp